

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業振興センター

「稲作情報（第7号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第7号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）																
月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R6 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R6 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R6 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R6 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R6 (hr)	平年比 (%)
6月	1	21.6	19.9	-1.7	27.6	26.4	-1.2	16.7	14.4	-2.3	21.8	0.0	0	25.9	48.6	187.6
	2	22.3	22.5	0.2	27.8	27.3	-0.5	17.8	19.2	1.4	28.6	22.5	78.7	23.0	18.4	80.0
	3	22.8			27.9			18.7			40.9			21.2		
	4	23.3			27.9			19.7			58.6			18.8		
	5	23.9			28.1			20.6			74.3			15.4		
	6	24.6			28.4			21.6			84.4			14.1		

○6月2半旬の平均気温は平年に比べて0.2℃ほど高く、まとまった降雨は少なく平年比78%であった。また日照時間は平年比80%であった。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：6月13日）

項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本年値	67.3	610	11.6	33.9	・草丈は平年に比べてやや高く、茎数はやや多い。 (1株あたり茎数38本程度) ・主稈出葉数は、0.8葉少ない。 ・葉色は薄い。 ・幼穂長7~17mm程度 ・幼穂形成始期 6月4日頃
	前年値	79.5	675	12.6	41.8	
	平年値	66.8	596	12.4	36.0	
	平年比(差)	101	102	-0.8	-2.1	

※平年値は、H26~R5年度の平均値 ※耕種概要は稲作情報NO1参照

(管内の生育状況)

○現在、生育ステージは、幼穂形成期～穂ばらみ期を迎えている。

3. 今後の管理（極早期コシヒカリ）

(1) 水管理

- ・「コシヒカリ」は、幼穂形成期～穂ばらみ期となっています。
情報田は、幼穂長からみた出穂日は6月30日頃と予想される。
- ・幼穂形成期から出穂期にかけては要水量が増加する時期であるが、湛水を長く行くと根を傷める場合もあるので、引き続き間断灌水を行う。
ただし、穂ばらみ期から穂揃期（6月19日頃～7月8日）は浅水管理とする。
また、台風等が接近する場合は、出来るだけ深水管理とする。

(2) 病虫害防除

①斑点米カメムシ

- ・斑点米カメムシによる被害を軽減するために畦畔雑草の除草を水稻の出穂15日前(6月中旬)までに終わらせる。
特に斑点米カメムシは、イネ科雑草を好むことから圃場内に発生しているヒエ等の雑草も併せて行う。
- ※畦畔を100m歩いて斑点米カメムシが3頭いたら、要注意である。



エノコログサやヒエが多発している畦畔はカメムシの住処になっている

4. 今後の管理 (普通期水稻)

《共通》

- 麦わらすき込み及び麦収穫前に打ち込みを行った圃場では、ガスのわきが予想されるので、初期生育を促進するため、移植前日までに窒素成分で0.5g~1g/箱の弁当肥を施用する。
移植後は、ガス抜きによる水管理が重要である。
- スクミリンゴガイの発生量が多いため、適切な防除を行う
 - ・水深1cm程度の浅水管理を行い。また、水口や水尻、作溝に集まった本種を捕獲する。
 - ・メタアルデヒド剤等の登録薬剤を処理する。
※移植時にスクミリンゴガイの被害がでる前に散布する。
※散布後7日間は、落水やかけ流しをしないこと。
- 除草剤の田植え同時処理を行う場合は、処理後やや深水管理が必要となり、スクミリンゴガイの被害を助長する可能性がある。逆に浅水管理にすると除草効果が落ちるので、同時処理を行う場合はその点に十分注意すること。(除草剤の田植え同時処理は直進アシスト田植え機を使用した湛水での田植え以外では推奨しない)

※スクミリンゴガイ対策については添付資料参照

(1) 「夢しずく」

- 「夢しずく」は、早いところで6月10日頃(平坦上部)から始まっている。
今後は、移植時期に応じた水管理を徹底する。また、除草剤は、薬剤の使用基準を守り、処理後7日経過したら浅水管理に移行する。
- 麦わらすき込みを行った圃場で、「ガスの発生が著しい場合」は、除草剤処理から7日経過したら「ガス抜き」のために半日~1日程度の落水を行う。



手を田んぼに入れると、気泡(ガス)が激しく発生する
⇒ガスの障害により生育抑制や古い葉の葉先に褐色の斑点が発生する。

(2) 「さがびより」

○「さがびより」は茎数が増えやすい品種であることから、下記のとおり①適正な栽植密度②植え付け本数を守るとともに、植え付け深度（3 cm程度）の適正化に努める。

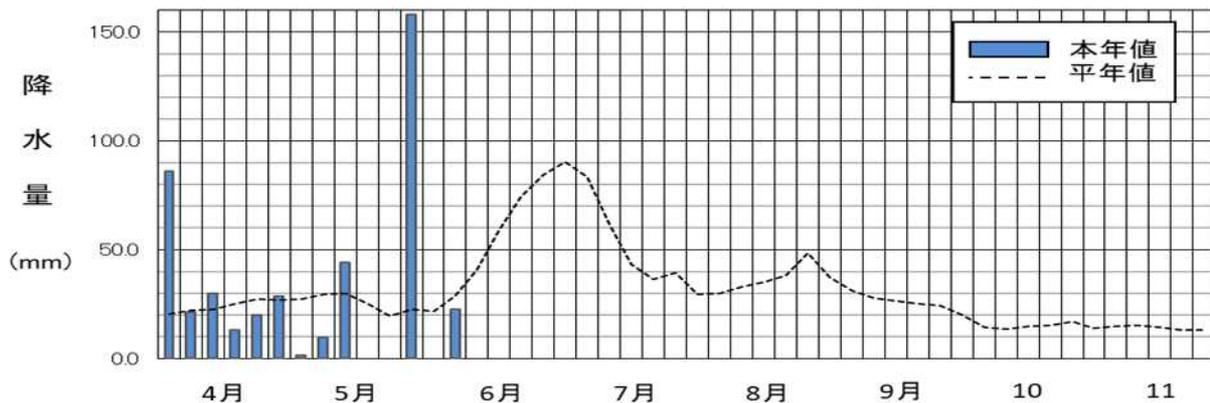
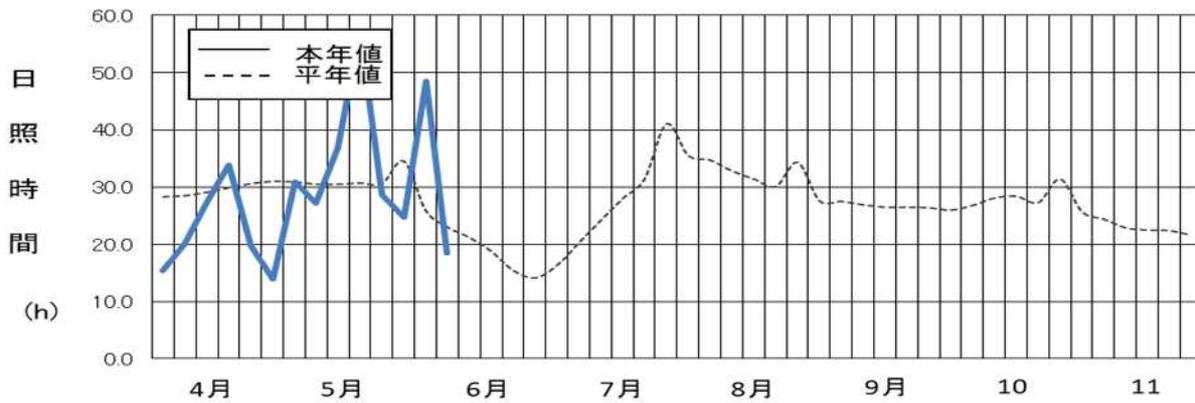
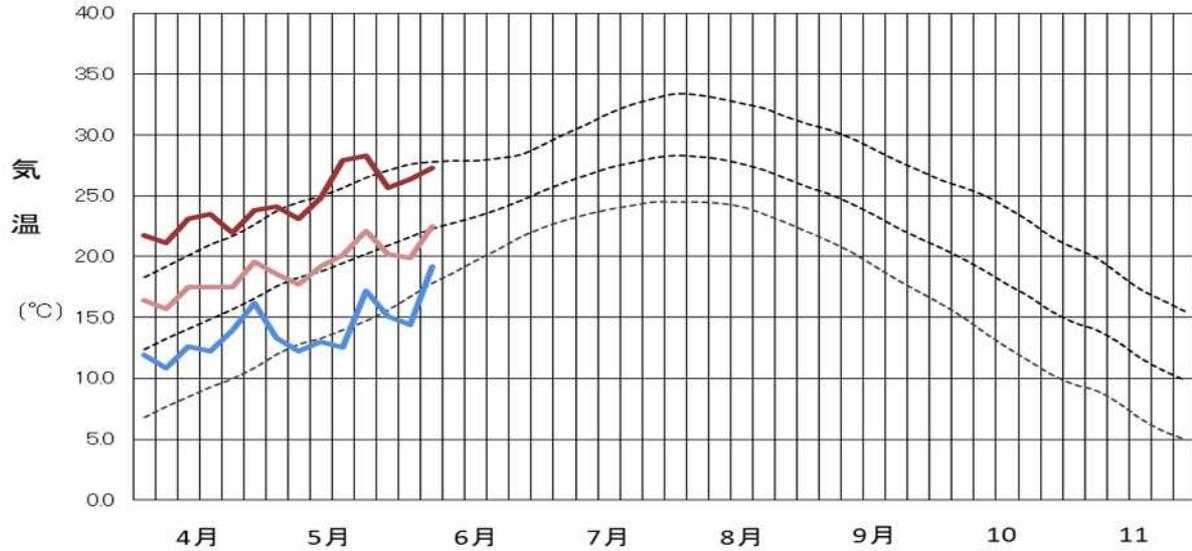
- ① 栽植密度 50～60株/坪（15～18株/m²）
- ② 植え付け本数 3～4本/株

○麦わらすき込み田では、移植後15日、25日の2回落水し、ガス抜きを行う。

(3) 「ヒノヒカリ」、 「ヒヨクモチ」

○「ヒノヒカリ」は6月20日以降、「ヒヨクモチ」は6月25日以降に移植する。

令和6年産 作物作付期間気象図
アメダス観測値(白石)



令和6年産 コシヒカリ情報田データ

品種名	コシヒカリ	市町名	白石町	
移植日	4月6日	栽植密度	16.1 株/m ²	出穂期

		5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20
草丈 (cm)	本年	34.8	35.2	41.8	46.8	55.0	61.1	67.3	
	平年値	26.0	29.1	34.7	44.2	52.7	59.4	66.8	72.1
	平年比	134	121	120	106	104	103	101	
茎数 (本/m ²)	本年	141	236	368	577	641	612	610	
	平年値	115	211	351	518	625	635	596	571
	平年比	123	112	105	111	103	96	102	
葉齢 (L)	本年	6.2	7.8	8.8	9.6	10.3	10.8	11.6	
	平年値	6.5	7.7	9.0	10.7	10.9	11.6	12.4	13.2
	平年差	-0.3	0.1	-0.2	-1.1	-0.6	-0.8	-0.8	
葉色 (SPAD)	本年	32.9	46.1	45.1	43.9	42.9	39.4	33.9	
	平年値	32.9	40.8	44.9	44.4	42.4	38.7	36.0	34.8
	平年差	0.0	5.3	0.2	-0.5	0.5	0.7	-2.1	

